※令和４年度以降入学生用

学校番号	3036

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	古典探究	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	「精選古典探究　古文編」「精選古典探究　漢文編」　（三省堂）						
副教材等	高校生の古典文法〈七訂版〉（啓隆社）、体系漢文〈三訂版〉(数研出版)等						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・２年生は１年次に学習した基本的な古典文法・漢文句法をさらに深く理解し、語彙を増やしつつ古典を読み解く力を高めていく時期です。
・様々な古典作品を文法・句法に基づき正確に読解していきましょう。そして作品に表れる思想や感性を的確に捉えていきましょう。
・古典文学には人間の普遍的な感性や知恵があふれています。それを通して自身の見識をより深いものにしてくれることを期待しています。
・予習として本文を真剣に読み込み、下調べをしてきてください。また、授業後の復習も充実させてください。それらの取り組み方次第で、１年次に身につけた基礎がどこまで発展するかが大いに変わってきます。能動的な学習が必要です。

２　学習の到達目標

（１）古典作品を読みときながら、用いられる語句や文法・句法を理解し、文章を正確に読解する力を養う。（知識及び技能）
（２）学習する古典文学を通して伝統的な言語文化に対する興味関心を深め、豊かな感性を培う。（思考力・判断力・表現力）
（３）伝統的な言語文化に対する興味関心を通して国語を尊重する態度を育む。伝統的な言語文化に対して知識や技能を身につけ、理解を深める。（学びに向かう力・人間性等）

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。また、古典に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	登場人物や場面設定を理解し、歌物語の面白さを味わう。また和歌を適切に解釈し、作品の中で果たす役割を理解する。 ［教材］『伊勢物語』「初冠」、「筒井筒」	a[知]：語句の意味や用法を理解し、語感を磨き、古典を読むための語彙を豊かにしている。古文法を理解し文章読解に役立てている。和歌の修辞を理解している。 b[読]：登場人物の行動と心情をもとに、和歌を中心にした物語に描かれた人間のありようを考えている。 c[主]：物語中の和歌の役割について理解を深め、歌物語へのあらたなる学びへの意欲をもっている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート
	展開のおもしろさを味わいながら、漢文の読み方を確認する。 ［教材］〈故事〉『歴代名画記』「画竜点睛」・『淮南子』「塞翁が馬」	a[知]：漢文を読むための、文語の知識や訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：文章のジャンルを踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 c[主]：漢文の読み方を確認し、故事成語の果たす役割について考えようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート
	随筆の内容を自分と関係づけながら、ものの見方、考え方を広げる。敬語についても深く知る。 ［教材］『枕草子』「雪のいと高う降りたるを」「中納言参り給ひて」・『徒然草』「花は盛りに」	a[知]：古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 b[読]：随筆に表現された筆者の考え方を的確に読み取っている。内容や描写に着目し、それぞれの随筆の特徴を理解している。 c[主]：作者の観察眼や価値観について理解し、それについて自らの考えを深めようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート
	『史記』を読み、項羽の生き方を通して人間のあり方について関心を深め、考え方を広げる。 ［教材］『史記』「鴻門之会」「四面楚歌」	a[知]：漢文の成分の順序や対比、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 b[読]：社会背景や他の作品との関係を踏まえながら作品を読み、その内容の解釈を深める。また、作品の文化的価値について考察する。 c[主]：『史記』を読んで項羽の生き方について理解し、人間のあり方について関心を持ち、調べて発表しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート
	日記文学の特色に注意しながら、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を読み取る。 ［教材］『更級日記』「あこがれ」	a[知]：形の上で紛らわしい語を文法的に識別している。 b[読]：。作者の立場を理解し、その心情を読み取っている。特に物語に対する作者の強い思いを理解している。 c[作者の生活や考え方を読み取るとともに、平安女流日記文学の特徴を理解しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート
	唐詩の鑑賞を通して、言語感覚や想像力を豊かにする。 ［教材］「近体詩」	a[知]：1 年次の学習を踏まえ、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 b[読]：作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながらその内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 c[主]：さまざまな唐詩を読み味わい、言語感覚や想像力を豊かにしようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	他の作品や絵巻との関係も踏まえながら、作り物語の内容を的確に読み取る。 ［教材］『源氏物語』「光源氏の誕生」「北山の垣間見」	a[知]:作品に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。本作品を中心に、様々な作品の文学史上の位置づけを把握している。 b[読]:書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 c[主]:『源氏物語』に言及した他の作品や絵巻に描かれた部分にも興味を持ち、学習課題に沿って『源氏物語』の文学史的位置について考察しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート
2	儒家の文章を読み、各テーマに対する共通点や相違点を文章にまとめる。 ［教材］『論語』・『孟子』「無恒産而有恒心者」『荀子』「人之性悪」	a[知]:我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。重要語句や句法を理解している。 b[読]:古典の作品や文章について、内容や解釈を深め、自分の知見や考えを広げたり深めたりしている。 c[主]:文章内容からそれぞれの考え方を読み取り、学習課題に沿って主題に対する自分自身の考えをまとめようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート定期考査 ノート	ワークシート
	思想の異なる二人の道家の文章を読み、人間を巡るさまざまな思想を読み取る。 ［教材］『老子』「大道廃、有仁義」「無用之用」 『荘子』「曳尾於塗中」	a[知]:先人のものの見方、感じ方、考え方を理解し、整理している。 b[読]:作品を通して得た理解を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。 c[主]:道家の考え方を読み取り、学習課題に沿って自分の考えをまとめようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート
3	作品の特色に注意しながら、歴史物語の内容を的確に捉える。 ［教材］『大鏡』「花山院の出家」	a[知]:作品の背景構造とその特徴について理解を深めている。重要語句を理解し、敬語法を確実に把握している。 b[読]:語り手の設定や登場人物の性格、人間性、社会、慣習などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 c[主]:作品の叙述の特徴や語り手の立場について整理・理解し、内容について意見を述べ合い、自分の考えを深めようとしている。同じ題材を扱った歴史物語を読み、それぞれの特徴を理解しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート
	小説の展開に即して、内容を正確に読み取りながら、発想や表現の特色を理解する。 ［教材］『桃下源記』	a[知]:古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]:関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分の考え方、感じ方を深めている。 c[主]:漢文における「小説」について調べ、調べた内容を工夫してまとめたり発表したりしようとしている。非日常的な世界の話を読むことの意義を考えている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　　）時間

・読むこと　…　（　105　）時間